

# 県立相原高等学校 出前授業

実施日：平成26年3月12日（水）

県立相原高等学校 環境土木科

トップバッターは、帽子がトレードマークの加藤会員（制度対策特別委員副委員長）。今回の企画、運営の中心人物。杭入れ作業中に不発弾を掘り当てたエピソード（実話）を披露。「爆発していたら今ここにはいないんですけどね」と言って生徒の笑いを取る。



2番手は温厚な柚木会員。プレゼンテーションソフトとプロジェクターを使い、土地家屋調査士の仕事を紹介。熱心にメモを取る生徒多数。資料作成ありがとうございました。





座学の後には“逆打ち”の実習です。穏やかな天気と芝生が心地良い。  
生徒の足元に注目。授業に造園作業があるため、実習は“作業着に地下足袋”が基本スタイル。





「プリズムを器械に向けて」。女子が多いのは意外でした。





おっと、器械が少し高すぎたようです！急遽踏み台を用意。





「最初にここを見て大体の方向を合わせるんだよ」。  
作業着が程よくヤレている生徒が多く、普段実習に熱心に取り組んでいる  
様子が想像できました。





大先輩の藤澤会員（左・同校の卒業生）から人生について話を聞く。  
順番待ちの間に交わす会員との雑談も大切な授業です。



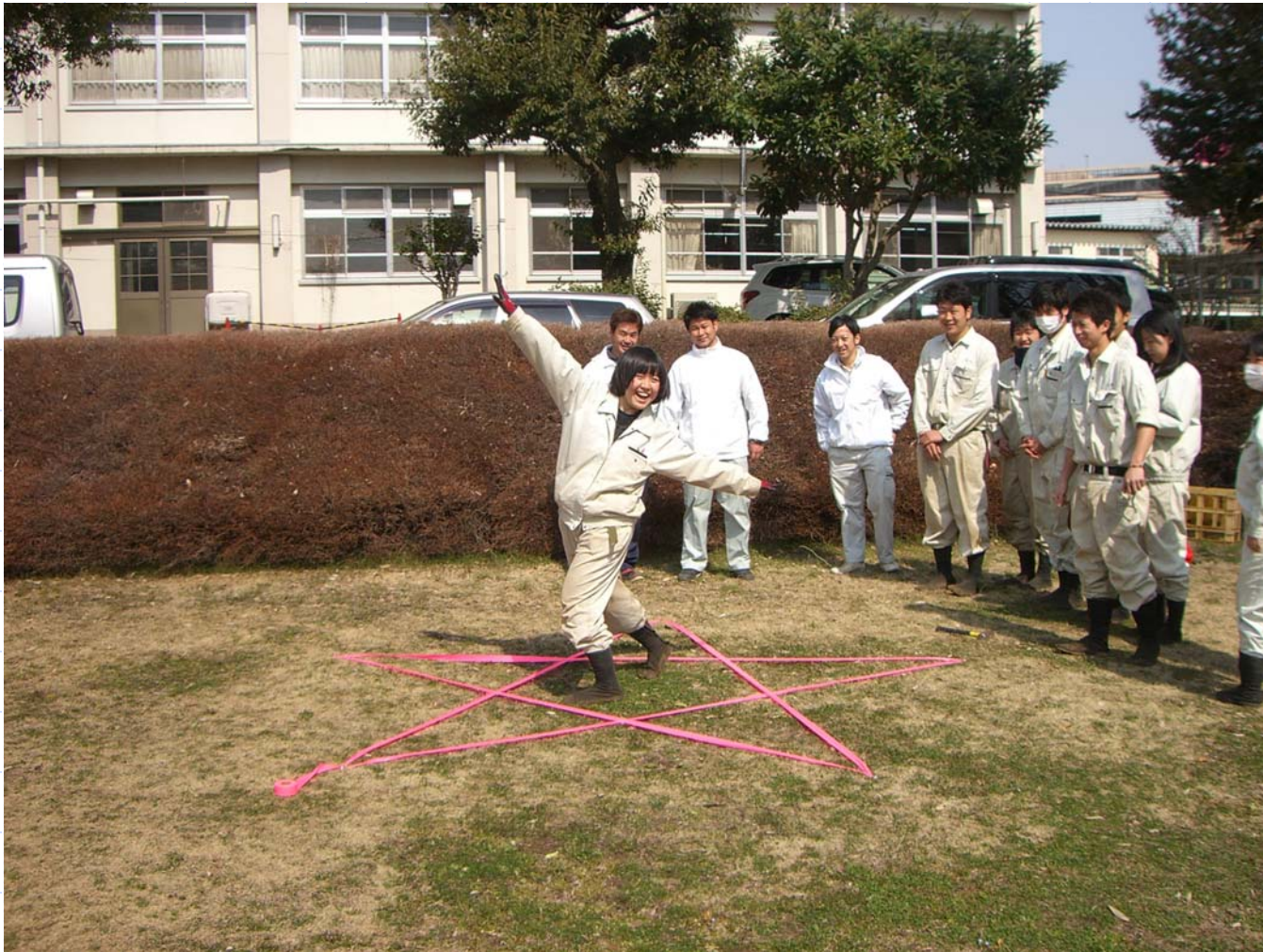


逆打ちした鉾にテープを張ると、星型の完成です。





カメラを向けるとこのノリの良さ！  
クラスの明るい雰囲気を感じられるショット。





大変よく出来ました！！ポーズをとる会員と、星に願いを込める生徒たち。



G N S S ( G P S ) 測量器について熱く語る県央支部の花上会員（制度対策特別委員委員長）。開口一番「今からこの器械が自動で歩きます」との冗談に場が和む。朝早くからありがとうございました！





最後は全員集まり自動追尾機能付きのトータルステーションの実演です。説明するのはオーナーの小野沢会員。スマートフォンでコントロールされた器械が自動で動くと「おおー」「すげー」と歓声が。すかさず周囲の会員から「すごいのは器械の方だからね！」と一言、笑いが起こる。

